

令和3年度 工業科（電気系）

教科	工業（電気）	科目	電子制御実習（電子）	単位数	6単位	年次	2年次
使用教科書	電気実習Ⅱ（本校編集）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

電子回路に関する基礎的な知識と技術を習得するなかで、半導体等電子部品の扱いや測定結果を読み取ることを学び、そしてその授業で展開された学習を電子実習でさらに理解できるようにします。技術者をめざすために、確実に身に付けるべき学習内容です。意欲的に授業に取り組みましょう。実習中だけでなく家庭や放課後等に自主的に取り組んだ学習で、資格取得等の発展的に取り組み、積極的にいろいろ挑戦しましょう。

2 学習の到達目標

「電子回路」の実習で基礎的な知識の技術を習得する。また、それらの知識と技術を実際に資格取得に活用する能力と態度を育てる。

電子実習に関する基礎的な知識と技術を習得するなかで、電子回路への関心や学ぶ意欲をもち、自ら調べて学ぶ習慣を身に付ける。また、「知識・理解」の到達度の目安として、「第三種陸上特殊無線技士」取得と「工事担任者 DD（AI）3種」の合格レベルをめざす。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子（半導体など）に関する最も大切で基礎的な実習について関心をもっている。</li> <li>電子実習に関して活用能力の向上に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>主体的に取り組む態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子実習に関する諸課題の解決を目指して自ら思考を深め、活用法を適切に判断できる。</li> <li>技術者として創意工夫する能力や表現する能力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子実習に関する基礎的な技術を身に付けている。</li> <li>諸課題の解決手段として、合理的な計画を立てることができる。また、その技術を適切に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子実習に関する基礎的な知識を確実に身に付けている。</li> <li>現代社会における電気の必要性と進展と意義や役割を理解している。</li> </ul>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察。</li> <li>実習ノート、補助プリント、実習レポートの内容と提出状況。</li> <li>考察の学習への取組</li> <li>自己評価および総合評価等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察。</li> <li>実習ノート、補助プリント、実習レポートの内容と提出状況。</li> <li>考察の学習への取組</li> <li>自己評価および総合評価等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察。</li> <li>実習ノート、補助プリント、実習レポートの内容と提出状況。</li> <li>考察の学習への取組</li> <li>自己評価および総合評価等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察。</li> <li>実習ノート、補助プリント、実習レポートの内容と提出状況。</li> <li>考察の学習への取組</li> <li>自己評価および総合評価等。</li> </ul>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

